

富山県

1. 商品名等

商品名	ちゃんこ鍋の素 万福		
商品写真(イメージ等)			
商品説明(コンセプト等)	<p>「ひと鍋囲めば、心もおなかも万福。発酵が育んだ富山の恵み」</p> <p>鍋を食べるシチュエーションから団らんの場を提供し、心も満たされお腹いっぱいになれる商品となっしてほしい。</p> <p>手軽に鍋を作ることができ、富山ならではの食の魅力を発信し、お客様の健康にも役立てる商品にしたいと生徒たちが主体的に考案した。</p>		

2. 学校紹介

学校名	富山県立富山商業高等学校	電 話	076-441-3438
住 所	富山市庄高田 413 番地	F A X	076-441-3439
担 当 者	上田 龍弘		
U R L	https://www.tomisho.tym.ed.jp/		
E-mail	tomishoko@ed.pref.toyama.jp		
<p>本校は、明治30年創立120余年が経過し、県内を中心とする産業界から信頼の厚い伝統校である。商業高校ならではの経理部、ワープロ部、珠算部なども含め、多くの部が全国大会へと進む強豪校として知られている。また、社会貢献活動にも力を入れており、地域に信頼され、共に歩むことができる学校をめざしている。令和4年度から学科の名称が変更になり、流通ビジネス科2学級、ビジネスマネジメント科1学級、会計ビジネス科1学級、情報ビジネス科2学級、各学年6学級による編成である。教育目標は、「自主協調」「明朗誠実」「進取敢闘」の校訓を指針として、高等普通教育および商業に関する専門教育を施し、生涯にわたって愛と正義の理想を追求するより高い人格の育成をめざしている。</p>			

4. 予算関係(費用)

商品開発に関する費用は協力企業に負担いただいた。

5. 開発経緯等

ここ数年、本校での生徒販売実習模擬株式会社「TOMI SHOP」において定番商品である「ちゃんこ鍋」販売に際し、家でも食べられるようにしてほしいという声を多数いただいていた。競合商品は多数あるものの、消費者の困りごとに着目するデザイン思考を活用し、自宅でも簡単においしく、富山ならではの鍋を作る調味料の開発に取り組んだ。商品をとおして富山の食をPRし、多くの人の幸せになってほしいこと、食べた人に満腹になってほしいこととかけ合わせ、商品名は「ちゃんこ鍋の素 万福（まんぷく）」となった。

ちゃんこは元来力士の食事を指す言葉であり、ちゃんこ鍋も力士の食事としての認知度が高い。栄養価が高く、多くの量を短時間で作れる食事として考案した。本校の販売実習ではR6年度から2年連続、2日間で1,200杯以上を売り上げており、多くのお客様に好評を得ていた。

R7年度は「ちゃんこ鍋の素 万福」の販売と、万福を使用したちゃんこ鍋の販売に取り組んだ。商品を開発・販売し、イベント等に活用することで多くの方に富山の食についてPRできる機会をつくることができ、地域活性化につながると考える。

今年度の課題研究の授業では活用法を検討し、地域イベントなどへ出店を計画している。

(R7年度校外での販売実習)

- 10月 社会福祉法人セーナー苑（ちゃんこ鍋の販売）
とやまグルメフードフェス 2025（万福の販売）
- 1月 富山市総曲輪地場もん屋総本店（万福の販売）
- 2月 東京日本橋とやま館（富山県アンテナショップにて万福の販売）



6. 販売形態・期間

有
・
無

2026年1月16日～富山市総曲輪地場もん屋総本店にて販売
県内各イベントにて販売 ・とやま・グルメフードフェス 2025
・社会福祉法人セーナー苑、セーナー苑祭
・生徒販売実習模擬株式会社「TOMI SHOP」

7. 協力者等

有
・
無

・マスイチ醸造株式会社
・合同会社新村こうじみそ商店
・いないち商店

8. 商標登録の有無

有
・
無

9. 今後の課題・展望等

課題…通年で食べられるレシピの考案、販路の拡大、海洋深層水マークの導入

展望…イベントで万福と富山県産食材を活用した鍋を作り、富山県産食材をPRする。

醤油、味噌、甘酒をはじめとした発酵食品の魅力を発信する。